

## 令和元年度（2019年度） 道央ブロックミーティング アンケート

### 【Q1】 今回のブロックミーティングの内容はどうでしたか？

#### （1）活動報告 野指導員

- ・「ホテル」を取り入れて、地域づくりを支援し、水と土の大切さを小学生等に継承していることは素晴らしい。
- ・平成9年度からの指導員で私たちの大先輩である野道夫指導員による、「ホテル」が沼田町のシンボルになるまでの長年のご苦勞にエールを送りたい。10年以上前にふる水の現地研修で沼田町にお邪魔をして、ホテルの館、雪（厄介者）を夏冷房に使用する施設（巨大冷蔵庫）などを研修したことを思い出した。冬の間を除雪した雪を堆積して、その雪を夏に各家庭に販売し、家庭では貯雪室に雪を入れてクーラー代わりに使用している。
- ・旅行先の露天風呂にきたホテルに感動して、今や年間7万人の集客を集める行動力に脱帽。本人が何度も口にしていますが、「水と土で育てて・・・」これぞふる水事業そのもの。しかし、後継者を育てなければ7万人が水の泡になってしまう。
- ・野指導員のホテルにかける情熱が伝わりました。今後、この情熱が他の指導員の活動にも反映されると良いと思う。
- ・野指導員の今までの活動における苦勞や大変だった話を聞いて大変勉強になった。
- ・ホテルからはじまる人間改革。自然環境の中の土と水に関する活動を継続することで地域を守っていることが参考になった。
- ・88歳になった今でも「地域おこし・ホテル」への情熱が素晴らしい。きれいな水と土の維持は、小さな動物や昆虫を守ること。ホテルで34年間地域振興を行い、沼田町への来場者は年間7万人、宿泊や購買、イメージ等で計り知れない経済効果を得ている。改良区職員4名をホテル研究会の研究者にして、水と土とホテルのガイドを行っている。「ホテルの舞う水田のお米を買いたい」という希望も納得。
- ・「北空知縁の会」のゴルフ場のキャディさんは、農家の嫁に最適。
- ・真剣に勉強をしているJA女性部に対して、ふる水の広報誌を活用している。
- ・人間改革と偉い人、立場のある人の説得は難しい。

#### （2）ワークショップ

- ・各ブロックの抱える問題点が分かって良かった。
- ・自分自身の自覚の向上にも繋がるので、参加して良かった。
- ・今までの反省と今後のふる水事業について、自分たちで考える良い機会だった。項目ごとに仕切りを入れたのは良かった。出席者が少ないために良案が出揃う前にタイムオーバーという印象もあった。
- ・指導員が多く出席していただけるように開催地、開催時期、テーマ等を指導員会や幹事会で議論する必要があると思う。指導員にアンケートを実施し、忌憚のない意見をもらい、それを叩き台に道庁担当者、委員、指導員で検討をしてはどうか。
- ・今後の事業推進に必要なことだったと思う。自分も各種研修会等に出来るだけ参加したいと思う。

【Q2】ワークショップで議論した内容以外で、ふる水事業で見直すべき点があれば御記入ください。

- ・現幹事の固定化により、新たな会員が出席しにくい状況を作っているのかもしれない。指導員会規約の改定に伴い、幹事の任期を制定し、役員・幹事を一新して、指導員の活動内容や必要性を明確にし、新たな人材を発掘しなければ、ふる水事業の存続が難しくなると思う。
- ・管内の活動が活発化するために、どのようなことができるか考えてみたいと思う。
- ・指導員が複数いる市町村がある(3人が3市町村、2人が10市町村)現状を踏まえ、道庁が委嘱方針の基準を作成してはどうか。
- ・委嘱基準を厳格化して、指導員の資質向上と、指導員としての自覚と責任を持たせる。各地域の講師としての親近感とアフターケアで、地域活動支援という役割を果たす指導員制度へ変える。
- ・活動報告書と本人の意思を確認して、自動更新的な指導員の委嘱交付を取りやめることができる委嘱規定を作成する。
- ・アンケートや研修の感想、意見は、研修会後の5～10分で記述する状況では、形式的アンケートだと思う。持ち帰り熟考する時間を取るほうが良いのではないか。
- ・道庁側は研修会の参加率へのこだわりが見え隠れするが、指導員には研修に出席していなくても、地元で頑張っている人もいる。

【Q3】次回のブロックミーティングで取り上げてほしい内容があれば御記入下さい。

- ・活動報告は2つくらいあっても良い。そのために会議時間が長くても構わない。
- ・内容次第で出席者が増えるか。まずは、ブロックミーティングの必要性の検証から始めたほうがよい。
- ・指導員会の規約にある「農地や土地改良施設の多面的機能を良好に発揮」しているところを視察研修してはどうか。今年の現地研修で視察した株式会社神門やえづらファームは非常に良かったので、全道各地のこのようなところを視察したい。土地改良施設では、小水力発電所や流雪溝水路など。

【Q4】ブロックミーティングや研修事業、ふる水事業全体に対しての御意見等がありましたら御記入ください。

- ・今回の道央ブロックミーティングでは、指導員の出席率が31%(5名/16名)と低く、出席者のいないブロックも見られた。開催日を決める前に、幹事が指導員を対象に日程調査を行い、多くの指導員が出席できる日程を決めるのはどうか。
- ・ブロックミーティングについては、隔年(1年に2ブロック)の開催でも良いと思う。
- ・管内の活動について共有できていないのが現状である。なかなか研修会に参加できていない地域でもあるので、管内の指導員同士の活動が見えるように管内全員の活動報告を周知してはどうか。
- ・道外のふる水指導員の活動状況について、資料があれば見てみたい。
- ・業種によって難しいとは思うが、出来るだけ参加人数が増えるように研修時期を調整してもらいたい。
- ・ふる水事業の年間予算や国からの補助について、指導員にも教えていただきたい。
- ・各ブロックの意見は周知されるのでしょうか？出た意見は共有した方が、指導員の活発な活動や出席率の差の是正に繋がるのではないか。
- ・早朝に出て、夜遅く帰ったり、前泊、後泊が必要だったりするような研修は大変なので、余裕を持ったスケジュールにすることも検討してほしい。
- ・現地研修の開催地がマンネリ化しているような気がするので、今まで行ったことがない地域での実施をするべきではないか。
- ・研修会の出席者が少ないのであれば、開催時期の検討や年報酬の支払い等を検討してみてはどうか。
- ・指導員設置要領や指導員会規約にあるとおり、「農地・土地改良施設の多面的機能を発揮」し、中山間地域の活性化を図る活動を推進する者が「ふる水指導員」だと思う。現在のふる水指導員は「中山間に住んでいる地域の活性化を図る活動を推進する者」が大半となっているので、情報交換やネットワーク作りには有意義だと思うが、「ふる水指導員とは？」という点を再確認する必要があると思う。
- ・各指導員のアンケート回答や意見、アイデア、提言等を文章化、書類化して、講師や関係機関へ配布する。
- ・研修者である指導員も必ず1点は課題、問題、提案を絶えず念頭に置いて、研修や意見交換に望む体制作りを構築する。講師の方が「今までの活動を振り返り、まとめて、未来像を描いた上で」課題等発表されているので、受講する側の指導員も講演内容を熱心かつ真剣に聞き取り、自分の活動の糧にする。